

# 短命県返上狙い 連携協定を締結

## 弘大とRAB

青森放送(RAB)と弘前大学は27日、本県の短命県返上を目的とした「いのちを守る連携協定」の締結式を行った。大規模な健診プロジェクトなどで高い評価を受けている弘前大と、健康推進を目的としたキャン

# 「いのちを守る連携協定」締結



協定書を交わした(左から)福田学長、中路学長

特別補佐、山本社長

ペーンに力を入れてきた青森放送が協力を深め、県民の健康寿命延伸を目指す。

青森市の青森放送本社で行われた締結式では、福田眞作弘前大学学長と山本恒太青森放送社長が協定書に調印。協定書には、弘前大のCOI(センター・オブ・イノベーション)研究推進機構が開発した「QOL健診(啓発型健診)」の推進や、県民の健康づくりの意識を高める取り組みで相互協力していくことなどが盛り込まれた。

福田学長は「今回の連携協定で、QOL健診をはじめめとする、健康づくりの取り組みを県内全体に浸透させていくことができる」と期待している」とあいさつ。COI拠点長を務める中路重之学長特別補佐は「短命県返上を青森県民としてプライドを持って実現するといふ強いメッセージが込められた協定書になった」と話した。

山本社長は「弘大が全国

に先駆けて進めているQOL健診の普及と健康教育の強化に向けて、県内の機運醸成に努めていきたい」と述べた。(正井晶子)